

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	(有)なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ 1F		
所在地	長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日	平成29年2月2日	評価結果市町村受理日	平成29年5月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構		
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内		
訪問調査日	平成29年2月21日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念の癒しの心で接しております。皆さんが、穏やかにすごせるような雰囲気作りを心掛けるようにしています。  
又外出・外食の際は職員全員で楽しく過ごせるよう計画を立てて実行しております。  
リハビリや痛みの軽減にはホットパックなどと気を配っております。又個人にあった昇降運動等を下肢筋力低下防止に取り組んだり、残存機能を生かせる日常生活の活動にも努めています。(食事の下ごしらえ、体操レクレーション)月1回気功の先生が来られ利用者様全員参加しています

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、紺碧の海を望む自然豊かな場所に位置している。年間行事には初詣、ひな祭り等の季節の催しを取り入れ、初詣は全員で神職のお祓いを受けるなど、入居前の生活習慣を大切に支援を行っている。気功や音楽療法も取り入れ、健康維持にも努めている。職員は、毎月ホーム便りに担当する利用者の様子を書き添えると共に、家族へ行事への参加を促しており、家族の協力のもと、楽しい時を過ごしている。さらに運営推進会議に毎回5名から8名の家族が参加していることから、ホームと家族の信頼関係が窺える。2ユニットのチームワークも良く、管理者は職員の休暇取得等にも配慮し、働きやすい職場環境となっている。職員手作りの利用者個別のアルバムには、温かい心配りが感じられ、職員が理念である「癒し」の心を常に忘れず、ケアに取り組んでいるホームである。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「いやし」理念と経営方針は毎月2回、職員会議の際職員全員で読み上げ常に頭に置き実践に繋げています	ホーム理念の「癒し」の概念を掘り下げた介護理念「利用者の思いに寄り添う事」「相手の立場になる事」を掲げている。これは、利用者の心と体に優しいケアを目指して、職員間で考え、更に利用者家族の意見も取り入れて作成したものである。理念は、リビングに掲示して職員間で共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣行事のガス祭り参加、毎年、近隣の中学生の職場体験学習でホームに毎年6人程来てくださいます。中学生より車いすを毎年寄贈と吹奏楽部の生徒が演奏に来てくれます	自治会に加入している。近隣の中学校とは、吹奏楽部やハンドベル部の訪問、職場体験学習、空缶回収の浄財での車椅子の寄贈と良好な関係を構築している。また、小学校の児童がホームで学習発表会を行ったり、他ホームとの相互訪問等、地域との交流が活発に行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のガス祭りにてなぎさコーナーを設け、介護相談や介護用品の説明などを行っています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	プロジェクターにて、ご利用者様の写真を見て頂き様子を伝える。又ビデオを見て頂くこともありあります。ご家族の参加が多いので、制服に名前を付けてほしいなどの要望にて改善につなげています	会議は年6回開催している。年間の会議の予定表を予め配布することで、毎回、5名から8名の家族が参加していることは、特筆すべき点である。会議では行事の報告をビデオで行うなど、ホームの運営状況を判りやすく伝える姿勢が窺える。家族からの意見提案も多くあり、運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に介護保険課の方に参加していただきサービスの取り組みなど見ていただいています。認知症サポーターの研修生の見学、意見交換などもしております。独居の方の歌の時間などの交流があり、なぎさへも訪問し歌の披露がありました	行政窓口にて、運営推進会議の年間予定表を持参し、開催月には改めて参加案内を行っている。日頃の更新手続きや事故報告は窓口へ出向き、相談も気軽に出来ている。包括支援センターからの紹介で認知症サポーター見学や独り住まいの高齢者の歌の会への見学が実現している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っておりません。日頃より身体拘束のケアを心がけています。多動dえ目が離せない方へは職員同士声かけにて行動を見守っています	ユニット会議でヒヤリハット事例を報告し、対策を話し合い身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。管理者は、ホーム内のマナー研修で言葉遣いに注意し、職員自らが振り返る機会がある。外部研修にも毎年参加し、受講後はレポートの提出と受講報告を行い、職員間で共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議にて意見交換の場を作っています。職員同士での言葉使いで気になることなどあったらお互い注意しあう環境づくりに心がけています。ご家族からの気づき等ができる限り確認しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、知識を増し、地域の人・利用者様ご家族へのアドバイスをしております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定・変更があればその都度説明し理解してもらう		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回運営推進会議を開き外部者の意見、ご家族からの意見交換ができる	運営推進会議の議事録を家族全員へ送付し、ホームの運営状況を積極的に知らせている。ホーム便りでは、次月の行事予定を知らせると共に家族に参加を呼びかけ、行事の際には多くの家族が訪れている。家族の訪問時には、職員から声を掛け要望を聞き取るよう努力している。要望は連絡ノートに記録し、職員間で共有化している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の職員会議で職員の話をも聞き色々な意見を出し合い話し合っています	社長は職員との面談や人事考課において、要望・意見を聞く機会を設けている。年間行事の企画は職員が中心となって立案し、実行後に全員で反省会を行い、改善点を話し合っている。シフトは、家庭の事情を考慮して組んでおり、労働環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給を使って頂いたり、外部の研修の際は日勤扱いにに対応しております。年2回代表者と個人面談があり、意見を聞く機会を設けています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部や職場内での研修に参加してもらっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと交流の機会があります。お互いの施設の行事に職員と利用者様が訪問したり招待したりと交流の場を作っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人さんの身体、精神的な行動や反応を感じる事で不安な気持ちに対応している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を聞くよう心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリをしていただきたいとの要望がある方は、病院にてのリハビリを行っております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯ものを干したり、畳んだり、又入浴準備、シーツ交換も職員と一緒にしております。利用者様がお茶の葉を詰めたり時におやつも一緒に作っております。なるべくご本人さんに役割をもっていただいています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームに足を運んでいただく機会を作る為に、日用品や衣類など必要な時は連絡し持ってきていただいています。行事の参加にも働きかけたり、外出時にも声かけております。面会時は、様子をお伝えしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人からのお便りや贈り物を大事にし話題として会話の中で取り入れ関係が続くように努めている	初詣や節分等の行事を丁寧に行っており、これまでの生活の習慣を大切にしていることが窺える。自宅近くの友人や以前勤めていた職場の後輩の訪問もあっている。歯磨き粉など、家族に購入を依頼し、訪問を促している。年賀状を出す利用者への支援や結婚式、法事には職員が付き添い、馴染みの関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操・レク、皆さん楽しめるように工夫したり、共同作業や日中の場面においても、リビングやソファで話しをしたり、手伝いあったりされています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方からの紹介などあり関係も続いています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人さんの好きなこと、歌を聴いたり、時代劇が好きで見ることができるようであれば希望に沿った物を提供し生活の楽しみにして頂くよう心がけています	入浴時や居室の清掃の際にコミュニケーションを図り、思いを汲み取っている。本人が訪問したいという場所に車で訪れた事例がある。家族に本人の外出の好みを聞き、メニューを選ぶ際の参考になっている。朝遅めに起きる利用者にも個別に対応している。発語が困難な利用者は表情で汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は、入所時お聞きしております。好きな歌手・趣味を聞きサービスに取り入れることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で話し合い個々にあった運動・休養のサービスに努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族に要望を聞き3か月に一回、カンファレンスとご家族とのモニタリングを行い現状意見を聞き介護計画作成をしております	入居時に利用者のアセスメントを行い、1ヶ月の暫定プランを作成し、3ヶ月毎に見直している。利用者・家族への聞き取りは、更新時のみならず、モニタリング時にも行っている。本人・家族の同意を得た介護計画は実施記録表に記録し、モニタリングの際に活用している。カンファレンスは、月1度、職員全員で行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月25日をカンファレンスの日と決め職員間で話し合いケアの見直しを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・リハビリ・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の結婚式へ連れて出かけたたりしております。病院も本人さんご家族さんの希望にてお連れしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には参加しております。又近隣のGHの交流や、小学校・中学校との交流も大切にしています地域のボランティアの方が慰問に来られ、演奏・又利用者様と一緒に炭坑節を踊ったりされました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際提携している病院を説明しています。御家族・本人のかかりつけがあれば、そちらを優先しています	本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医を継続している。定期受診には職員が付き添い、受診結果は家族へ報告し、職員は連絡ノートで共有している。主治医の指示の下、毎日FAXで状態を報告しているケースもある。歯科医の往診も今年度から始まっている。緊急時は利用者毎に病院用と救急車用の緊急ファイルを整備している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております。長期になった場合も連携病院にて対応していただくようにしております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております。長期になった場合も連携病院にて対応していただくようにしております	入居時に「重度化に対応する指針」でホームでの対応能力を説明し、看取りは行わない旨説明し同意を得ている。ただし、ホームとしては、対応能力の範囲の中で、本人・家族の意向を聞き、本人の希望に沿って出来る限り、対応するよう努めている。また長期入院の際には、医療機関への移行がスムーズに進むよう協力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生の講習を毎年受けており、緊急時対応についても指導して頂いています、職員全員休日を利用し救命救急講習を受けカードを所持しており今年は、更新する年なので5月に計画して		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	避難訓練を年3回実施、日中・夜間の火災を想定し実施しております。又一か月に一度消防計画のもと防火管理者が職員への指導を実施しております	毎月の自主消防避難訓練と年2回の消防署立会で昼夜間想定訓練を実施している。自然災害時の地震マニュアルを見直し避難方法等を検討している。ただし、近隣住民へは、災害時の見守りへの協力依頼はしているものの、訓練への参加がない。また、災害時の食料備蓄等はあるものの、消費期限等の管理はこれからである。	災害発生時は、近隣住民の協力が不可欠となるため、訓練への参加が実現するよう期待したい。また、備蓄品目の管理の方法に工夫が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様1人1人の従来の生活習慣を大事にしている、誇りを尊重する事により、利用者様の方が自分らしく生活できるような対応や声掛けを心がけています	管理者は職員に利用者は苗字にさん付けで呼ぶよう指導しており、不適切な場合は、その場で注意している。排泄を失敗した際は、さり気なく声を掛け居室へ誘導するよう配慮している。職員の採用時には、個人情報に係る誓約書の提出を義務付けており、ホーム便りに掲載する写真については、家族の同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動の制限をするのではなく側にいて様子を見守り、答えやすい言葉使いをし本人さんの意思を確かめる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人ペースに合わせ生活しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出(受診も含め)、行事など身だしなみはそれに合った着衣を用意する		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、切る。できない方もその様子を見る事で作業に参加できている。お茶の葉詰めなどして下さる。食事後の掃除も職員と一緒にされる	入居時、嗜好調査を行い、きざみ食・ミキサー食に対応している。つわの皮むき、干柿作りと利用者も食事作りに参加する場を設けている。外食の機会が多く、和食、洋食と好みの料理を味わったり、出前や花見弁当とバラエティに富んだメニューで食事が楽しいものとなるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量を把握し摂取できる内容や時間を考えながら職員で情報の共有に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人さんが出来る人だと見守り、出来るところまでは、御自分でその後は職員だ介助しケアしております。訪問歯科の指導も受けております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を定期的に行っております。(排泄チェック表を確認し誘導)なるべく布パンツ使用を心がけております	排泄チェック表を基に一人ひとりのパターンを把握することで、早めの誘導を心掛けている。便秘の薬の間隔を細かく検討し、スムーズな排泄を促している。昼間は布パンツを使用することを目標としており、利用者それぞれに、現在の状態を保つよう支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、医師と相談し、水分補給、服薬などで調整しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	日は決まっておりますが、本人さん希望により一人で入浴される方、最後にゆっくり入りたい方、利用者様の意見を取り入れ施行しております	週3回の間隔は決まっているが、希望により柔軟に対応しており、足浴とシャワー浴の利用者、浴槽に浸かる利用者さまさまざまである。入浴日以外には、清拭を行っている。浴室は、床暖房が施され、温度差による負担を少なくする工夫がある。現在、機械浴の導入を検討中である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間十分な睡眠が確保できなかった方、就寝時間が遅い方は、日中横になって頂き休息時間を取るよう心がけております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護日誌にお薬リストをはさみ目を通すようにしています。日誌や連絡ノート、申し送りなどで把握できるようにしております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホールのはき掃除、拭き掃除洗濯物たみ、紙での作品作り、コーヒーを飲んだり、散歩に行かれたりとされている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・買い物に行っています。外出行事では、御家族の参加もあります。ペーロンの時は、地域の方が、席を作ってください交流しております	天気の良い日は、ホームの周りの散歩を行っている。他の施設から茶会や夏祭りの招待を受けたり、陶芸教室へ通ったりと外出の機会が多い。春には、近隣公園で花見を楽しみ、菖蒲見学には家族も多数参加しており、季節を感じる事ができるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出やドライブなどおこづかいを持っていきご本人さんの好きな物を選んでいただいております。又支払いも一緒にしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取りつぎや、希望時や定期的に電話をかけお話ししていただいております。書かれた手紙を預かり職員がポストに入れます。年賀状も出していただいております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓より外の景色を楽しむ方が多くなったのでそのスペースを確保しています	幅広い廊下とゆったりとしたリビングには陽光が差し込み、窓辺には紺碧の海と山波が映える。ウッドデッキでは日光浴も楽しめる。室温、湿度の管理と毎日の清掃で清潔感のある空間となっている。雛人形等の季節の飾りつけが施され、心地よいBGMの中で、談笑したり、新聞を読んだり、思い思いに寛げる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関の椅子に座り自分の時間を静かにとっている方がいらっしゃるのを見守りしたり話をしすごしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や利用者様が描いた絵を貼ったり、その方らしいお部屋にしています。絵の他にパッチワーク作品などあります	居室は、洋室と和室があり、備え付けのクローゼットで整理整頓されている。温度・湿度計を置き、冬場は、濡れタオルで乾燥を防いでいる。利用者は、TV、家族写真等を持ち込み、本人の好みの部屋となっている。職員手作りのホーム年間行事カレンダーや誕生日にメッセージを添えた写真を掲示し、心地よい空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ。自室への表示他の方への入室防止の為名前表示を工夫している		

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	(有)なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ 2F		
所在地	長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々癒しの心で接しております。ウッドデッキがあり、過ごしやすい季節の際はお茶をしたりひなたぼっこをしたりのんびり過ごしております。又リビングにも入居者が揃って過ごすことがほとんどです。入居者様のペースに合わせ毎日を楽しみ過ごしております。昇降運動・立位運動など個人にあった運動をし下肢筋力低下を防いでおります。無理がないよう楽しくできる運動や生活リハビリを取り入れております。 外食では、利用者様のご希望を聞きお店を選んでおります。空調管理も各居室気配りをしております。 地域行事には、参加を心掛け触れ合う場作りを支援しています。 毎月1回気功の先生が来られ、全員参加しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「いやし」理念と経営方針は毎月2回、職員会議の際職員全員で読み上げ常に頭に置き実践に繋げています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣行事のガス祭り参加、毎年、近隣の中学生の職場体験学習でホームに毎年6人程来てくださいます。中学生より車いすを毎年寄贈と吹奏楽部の生徒が演奏に来てくれます		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のガス祭りにてなぎさコーナーを設け、介護相談や介護用品の説明などを行っています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	プロジェクターにて、ご利用者様の写真をみて頂き様子を伝える。又ビデオを見て頂くこともありあます。ご家族の参加が多いので、制服に名前を付けてほしいなどの要望にて改善につなげています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に介護保険課の方に参加していただきサービスの取り組みなど見ていただいています。認知症サポーターの研修生の見学、意見交換などもしております。独居の方の歌の時間などの交流があり、なぎさへも訪問し歌の披露がありました		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っておりません。日頃より身体拘束のケアを心がけています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議にて意見交換の場を作っています。職員同士での言葉使いで気になることなどあったらお互い注意しあう環境づくりに心がけています。ご家族からの気づき等をできる限り確認しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、知識を増し、地域の人・利用者様ご家族へのアドバイスをしております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定・変更があればその都度説明し理解してもらう		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回運営推進会議を開き外部者の意見、ご家族からの意見交換ができる		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の職員会議よりの意健交換を大切にしている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給を使って頂いたり、外部の研修の際は日勤扱いにに対応しております。年2回代表者と個人面談があり、意見を聞く機会を設けています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部や職場内での研修に参加してもらっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと交流の機会があります。お互いの施設の行事に職員と利用者様が訪問したり招待したりと交流の場を作っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に事前に面接し、ご本人さんに要望を聞いたり、伝える事が難しい方は行動や表情をみて安心できる対応を心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を聞くよう心がけています。3ヶ月に1回のモニタリングにて聞いてまいります。又面会時にご家族と話しができるよう心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	近隣行事のガス祭り参加、毎年、近隣の中学生の職場体験学習でホームに毎年6人程来てくださいます。中学生より車いすを毎年寄贈と吹奏楽部の生徒が演奏に来てくれます		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯ものを干したり、畳んだり、又入浴準備、シーツ交換も職員と一緒にしております。利用者様がお茶の葉を詰めたり時におやつも一緒に作っております。なるべくご本人さんに役割をもっといただいています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームに足を運んでいただく機会を作る為に、日用品や衣類など必要な時は連絡し持ってきていただいています。行事の参加にも働きかけたり、外出時にも声をかけております。面会時は、様子をお伝えしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会に来られたり、手紙や年賀状など出す機会を作っております		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操・レク、皆さん楽しめるように工夫したり、共同作業や日中の場面においても、リビングやソファでお話しをしたり、手伝いあったりされています。出来る事を利用者様で分担し一つの事を仕上げるなどの工夫をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている方の面会に行っています。退所されたご家族からの紹介も多いです。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族の要望・本人さんの意向を大切に支援しております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は、入所時お聞きしております。好きな歌手・趣味を聞きサービスに取り入れることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で話し合い個々にあった運動・休養のサービスに努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族に要望を聞き3か月に一回、カンファレンスとご家族とのモニタリングを行い現状意見を聞き介護計画作成をしております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月25日をカンファレンスの日と決め職員間で話し合いケアの見直しを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・リハビリ・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の結婚式へ連れて出かけたたりしております。病院も本人さんご家族さんの希望にてお連れしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には参加しております。又近隣のGHの交流や、小学校・中学校との交流も大切にしています地域のボランティアの方が慰問に来られ、演奏・又利用者様と一緒に炭坑節を踊ったりされました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際提携している病院を説明しています。御家族・本人のかかりつけがあれば、そちらを優先しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております。長期になった場合も連携病院にて対応していただくようにしております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております。長期になった場合も連携病院にて対応していただくようにしております		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生の講習を毎年受けており、緊急時対応についても指導して頂いています、職員全員休日を利用し救命救急講習を受けカードを所持しており今年は、更新する年なので5月に計画して		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	避難訓練を年3回実施、日中・夜間の火災を想定し実施しております。又一か月に一度消防計画のもと防火管理者が職員への指導を実施しております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様1人1人の従来のできた生活習慣を大事にしている、誇りを尊重する事により、利用者様の方が自分らしく生活できるような対応や声掛けを心がけています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動の制限をするのではなく側にいて様子を見守り、答えやすい言葉使いをし本人さんの意思を確かめる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人ペースに合わせて生活しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出(受診も含め)、行事など身だしなみはそれに合った着衣を用意する		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、切る。できない方もその様子を見る事で作業に参加できている。お茶の葉詰めなどして下さる。食事後の掃除も職員と一緒にされる		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取が少ない方には表を用い一日の水分を確認しています。食事量も表を用いて主治医指示によりエンシユアを飲まれている方もおります		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人さんが出来る人だと見守り、出来るところまでは、御自分でその後は職員が介助しケアしております。訪問歯科の指導も受けております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を定期的に行っております。(排泄チェック表を確認し誘導)なるべく布パンツ使用を心がけております		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、医師と相談し、水分補給、服薬などで調整しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決まっておりますが、本人さん希望により一人で入浴される方、最後にゆっくり入りたい方、利用者様の意見を取り入れ施行しております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間十分な睡眠が確保できなかった方、就寝時間が遅い方は、日中横になって頂き休息時間を取るよう心がけております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護日誌にお薬リストをはさみ目を通すようにしています。日誌や連絡ノート、申し送りなどで把握できるようにしております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホールのはき掃除、拭き掃除洗濯物たみ、紙での作品作り、コーヒーを飲んだり、散歩に行かれたりとされている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・買い物に行っています。外出行事では、御家族の参加もあります。ペーロンの時は、地域の方が、席を作ってください交流しております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出やドライブなどおこづかいを持っていきご本人さんの好きな物を選んでいただいております。又支払いも一緒にしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取りつぎや、希望時や定期的に電話をかけお話ししていただいております。書かれた手紙を預かり職員がポストに入れます。年賀状も出していただいております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓より外の景色を楽しむ方が多くなったのでそのスペースを確保しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関の椅子に座り自分の時間を静かにとっている方がいらっしゃるの見守りしたり話をしすごしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や利用者様が描いた絵を貼ったり、その方らしいお部屋にしています。絵の他にパッチワーク作品などあります		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ。自室への表示他の方への入室防止の為名前表示を工夫している		